日本キャスタブル工業株式会社

環境経営レポート

作成日：2021年 6月 21日

実施期間

2020 年 12 月 1 日　～　2021 年 5 月 31 日

目　次

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２
会社概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．３
取扱商品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４
理念・方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．５
環境経営目標計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．６～Ｐ．７
組織図・役割・責任・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．８
本年度の使用実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．９
今年度の実施状況
　Ⅰ．　汚泥・がれきの削減・・・・・・・・・・・Ｐ.10
　Ⅱ-1. ＬＰＧ使用量の削減 ・・・・・・・・・・Ｐ.11
　Ⅱ-2. 電力使用量の削減 ・・・・・・・・・・・・Ｐ.12
　Ⅱ-3. 水使用量の削減・・・・・・・・・・・・・・Ｐ.13
　Ⅲ．　化学物質を適正に管理する ・・・・・・Ｐ.14
　Ⅳ．　環境に配慮した新製品開発の提案・・Ｐ.15
　Ⅴ．　社員教育の実施・・・・・・・・・・・・・・Ｐ.16
ＳＤＧｓ宣言 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ.17
安全衛生・防災活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ.18～Ｐ.20
環境推進委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ.21～Ｐ.23
環境関連法規等の遵守状況の確認
　及び評価の結果・違反、訴訟等の有無 ・・・Ｐ.24
代表者による全体の評価と見直し・指示 ・・・・・Ｐ.25

ごあいさつ

弊社は、1950年4月に前身である三石耐火工業(有)を創立後、1964年2月に日本キャスタブル工業(株)を設立し、今年で57周年になると同時に創立71年を迎えます。

我々は、自動車産業・鋼管産業・鋳物産業と共に歩んできた企業です。又、近年では環境分野にも進出しております。

これもひとえに皆様方のご愛顧、ご指導、ご支援の賜物であると感謝しております。

認証取得を目標に、2020年12月にエコアクション21への取組みをスタートしました。

環境を意識した活動を重要課題として、社内の汚泥・がれきなどの産廃削減、ＬＰＧ使用量の節減、電力使用量の節減、水使用量の節減、化学物質の適正管理。これらを環境負荷低減と位置付けし、環境保全と持続的発展が可能な社会形成に貢献出来る様、活動に取組み始めています。

SDGsは世界規模で動き始めています。弊社としましてもこれを企業の根幹に置き、我々の出来る所から地域の皆様と共に持続可能な開発目標の達成に向け、一歩一歩努力し貢献していく所存でございます。

日本キャスタブル工業株式会社

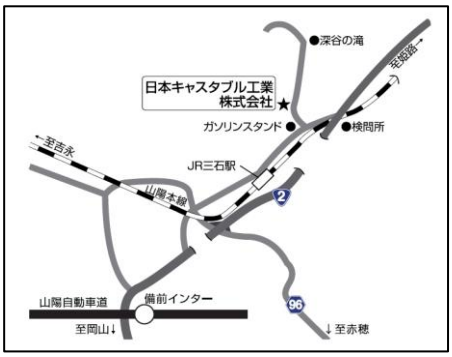
代表取締役

石野充信

会社概要

会社名　　日本キャスタブル工業株式会社

所在地　　〒705-0132
岡山県備前市三石573番地
TEL　：（0869）62-0555
FAX　：（0869）62-0722



代表者　　代表取締役　石野充信

社員数　　43名（2021年3月時点）

資本金　　25,000,000　円

延べ床面積　　4,050㎡

敷地面積　　12,000㎡

事業年度　　6月　～　翌年5月

エコアクション21対象組織・活動　　全社、全活動

事業内容　　〇不定形耐火物の製造・販売
・パッチング材　・プラスチック材　・キャスタブル耐火物材
・モルタルコーティング材　・プレキャストブロック
〇取鍋施行（キャスティングサービス）

会社の歩み

1950年4月　前身である三石耐火工業有限会社を設立
1964年2月　日本キャスタブル工業株式会社を設立
1968年　全国を12地区に分割し、約60社と代理店・販売店契約
1980年　試験研究室完成
2006年　ISO9001:2000認証取得
2009年　石野充信が代表取締役社長に就任
2018年　ユースエール認定取得

ISO9001:2015　認証取得

取扱商品

パッチング材

耐火性骨材と可塑性材料、バインダー等を加え、水で練り混錬した土状の耐火物製品

キャスタブル耐火物材

耐火性骨材にアルミナセメントやバインダー等を加え混ぜ合わせた粉末状の耐火物製品

ラミング材

プラスチック材よりも可塑性及び水分を少なくし容積安定性を高めた湿った粒粉状の耐火物製品

プレキャストブロック

キャスタブル耐火物材を、所定の形状にあらかじめ流し込み成形した耐火物製品

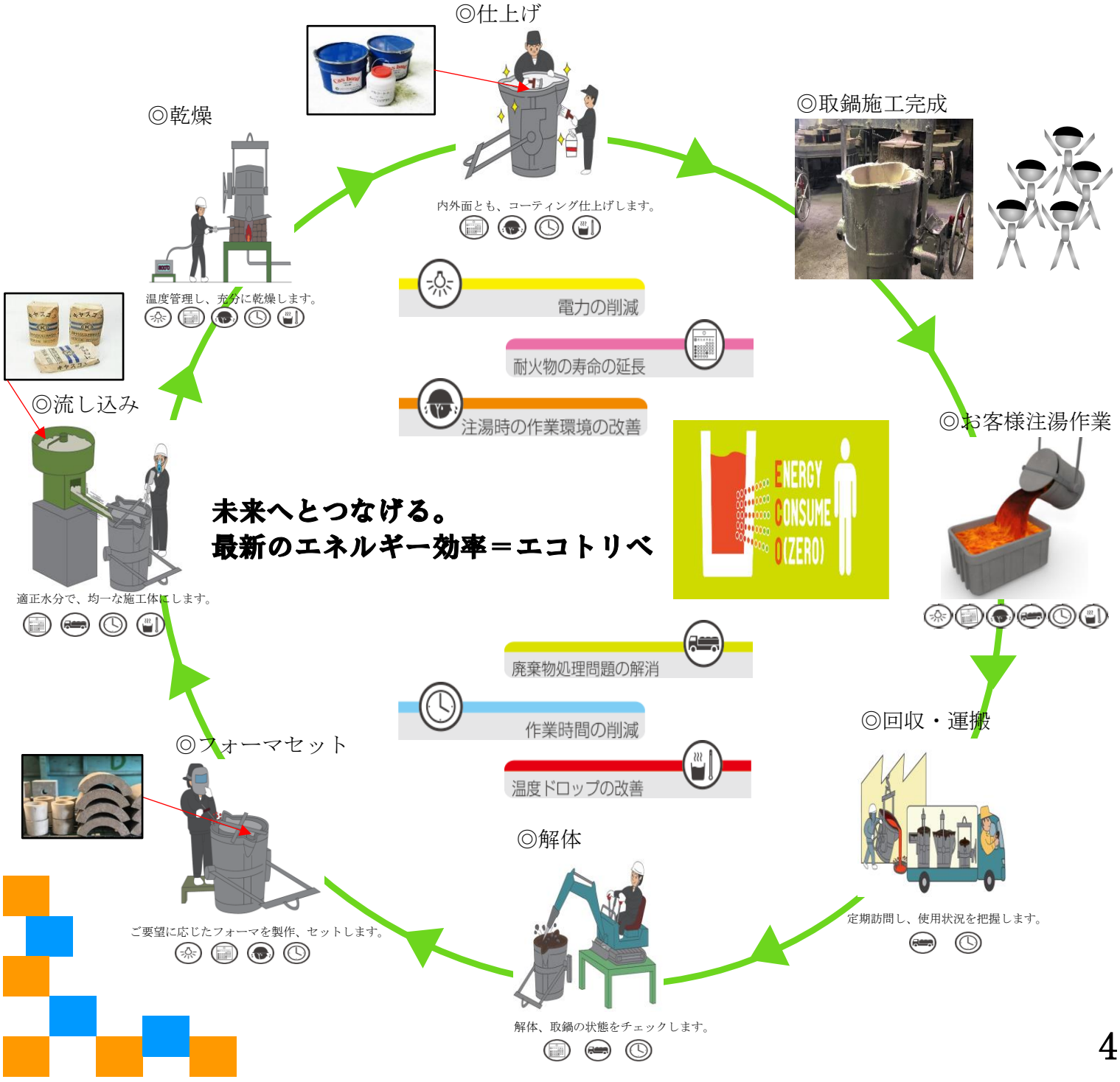
モルタル・コーティング材

耐火レンガの目地材として使用され、熱硬性や気硬性など様々な用途で使用できる耐火物製品

キャスティングサービス

様々な注湯容器の炉材開発から、設計・施工までの一貫した業務を提供するサービス

取扱商品の一例をご紹介(キャスティングサービス)



環境経営理念

耐火物メーカーとして環境負荷の軽減に努め、
地球環境保全と調和に配慮し、
次世代に継承できる環境の実現を目指します。

環境経営方針

環境経営マネジメントシステムを構築・運用し、継続的に改善します。

1. 汚泥・がれきの削減を最重要分野として取組みます。
2. 省エネルギー・省資源の推進、リサイクル率の向上に努めます。
3. 化学物質を適正に管理します。
4. 環境に配慮した新製品開発を行います。
5. 社員に持続可能な環境教育を推進し、意識の高揚と徹底を図ります。
6. 環境関連法規・顧客が求める環境事項を遵守します。
7. 環境方針を全社員に周知徹底します。

制定日：2020年 12月　1日

代表取締役 石野充信

環境経営目標計画（58期・初年度）

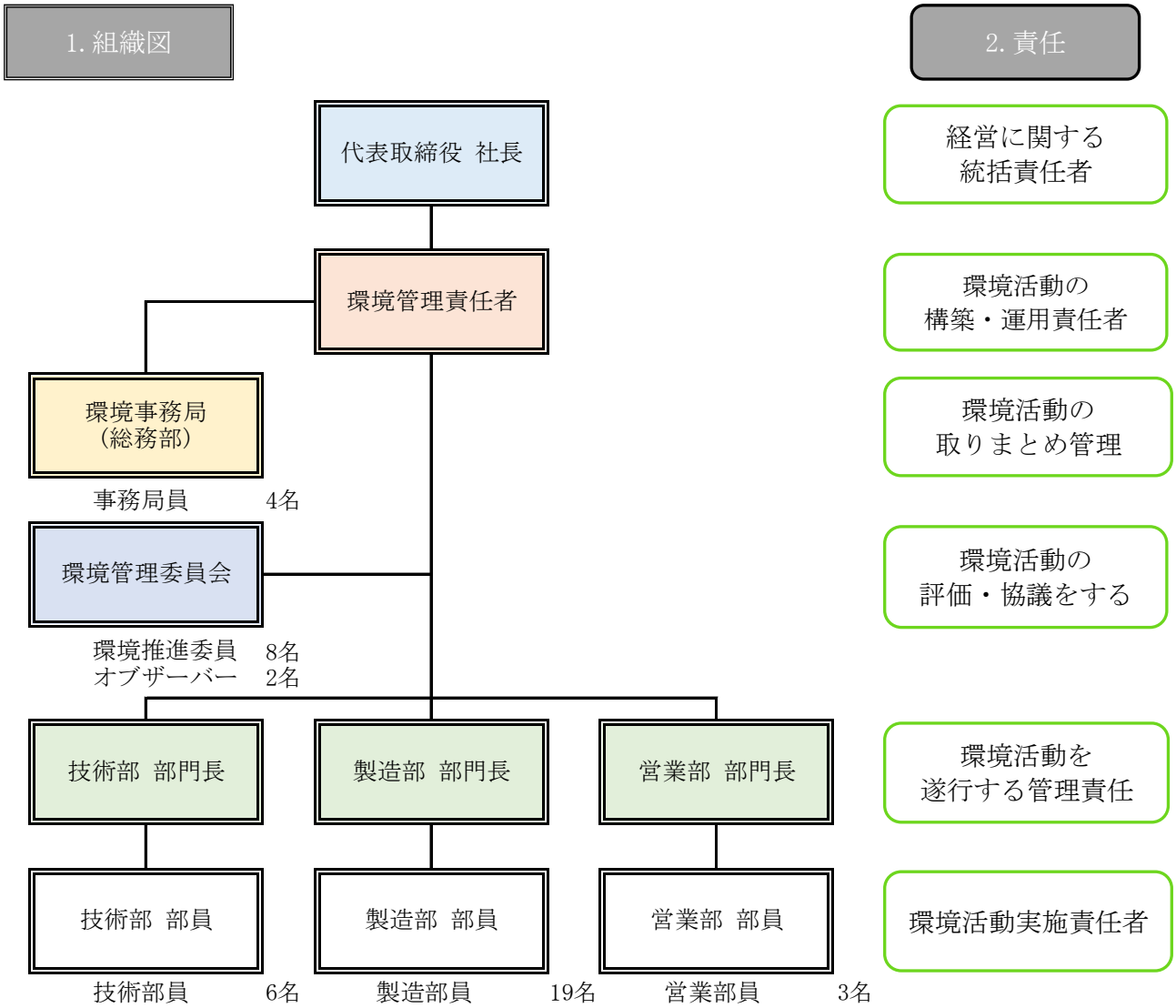
2020年 12月～2021年 5月

環境経営目標	基準値		58期
Ⅰ. 汚泥・がれきの削減 単位： 産廃(汚泥・がれき)t/生産t	0.0519	目標	0.0508（△2%）
	基準期間 2019.12～2020.5 (57期)	達成手段	①廃棄物の見える化を行う ②がれきのリサイクルを検討する
Ⅱ-(1) ＬＰＧ使用量の削減 単位： ＬＰＧ使用量kg/総生産ｔ数 (取鍋)	255.34	目標	252.79（△1%）
	基準期間 2019.12～2020.5 (57期)	達成手段	①取鍋全体のガス使用量の把握 ②サンプルの取鍋をピックアップする
Ⅱ-(2) 電力使用量の削減 単位： kWh/生産ｔ	49.66	目標	49.20（△1%）
	基準期間 2019.12～2020.5 (57期)	達成手段	①不要照明の消灯 ②断熱シート設置(現場休憩室)
Ⅱ-(3) 水使用量の削減 単位： m^3	333.00	目標	329.67 （△1%）
	基準期間 2019.12～2020.5 (57期)	達成手段	①節水の周知徹底・ポスター掲示 ②水漏れ点検の確認 ③器具の交換
Ⅲ. 化学物質を適正に管理	実績なし	目標	実態調査・次年度目標の設定
	基準期間 2019.12～2020.5 (57期)	達成手段	①化学物質の調査 ②適正管理 ③ＳＤＳの発行管理
Ⅳ. 環境に配慮した新製品 開発の提案 単位： 提案数	実績なし	目標	目標設定を行う
	基準期間 2019.12～2020.5 (57期)	達成手段	①環境に配慮した新製品開発提案
Ⅵ. 社員教育の実施	実績なし	目標	１回実施
	基準期間 2019.12～2020.5 (57期)	達成手段	①エコアクション21の説明会 ②カードゲーム実施

環境経営目標計画（59期・2年目）

環境経営目標	基準値		59期 (2021年6月～2022年5月)	60期 (2022年6月～2023年5月)	61期 (2023年6月～2024年5月)
Ⅰ. 汚泥・がれきの削減 単位： 産廃(汚泥・がれき)t/生産t	0.0499 基準期間 2019.6～2020.5 (57期)	目標	0.0489（△2%）	0.0484（△3%）	0.0474（5%）
		達成手段	①廃棄物の見える化を行う ②がれきのﾘｻｲｸﾙを検討する	①在庫数量の適正化を調べる ②生産工程の歩留まりを調べる	①在庫数量を適正化する ②生産工程の歩留まりを削減する
Ⅱ-(1) LPG使用量の削減 単位： LPG使用量kg/総生産ｔ (取鍋)	233.22 基準期間 2019.6～2020.5 (57期)	目標	230.89（△1%）	228.25（△2%）	225.06（△3.5%）
		達成手段	①サンプル取鍋の実測値の集計及び分析	①サンプル取鍋の実測値の分析結果からの検証 ②電気等の熱電源を利用可能か検証	①サンプル取鍋の実測値の分析結果からの検証 ②電気等の熱電源を利用可能か検証
Ⅱ-(2) 電力使用量の削減 単位：　kWh/生産ｔ	46.12 基準期間 2019.6～2020.5 (57期)	目標	45.65（△1%）	45.20（△2%）	44.73（△3%）
		達成手段	①空調温度の適正化(冷房26℃暖房22℃) ②節電の周知徹底 ③電力量のﾁｪｯｸと比較	①節電運動の継続 ②節電の周知徹底 ③電力量のﾁｪｯｸと比較	①照明器具(LED)更新 ②節電の周知徹底 ③電力量のﾁｪｯｸと比較
Ⅱ-(3) 水使用量の削減 単位：　m^3	665.00 基準期間 2019.6～2020.5 (57期)	目標	658.35（△1%）	651.70（△2%）	645.05　（△3%）
		達成手段	①節水の周知徹底 ②漏水の確認 ③器具の交換	①節水運動の継続 ②ﾊﾞﾙﾌﾞの調整により水量・水圧の調整を図る	①節水運動の継続 ②ﾊﾞﾙﾌﾞの調整により水量・水圧の調整を図る
Ⅲ. 化学物質を適正に管理	実績なし 基準期間 2019.6～2020.5 (57期)	目標	第1種指定化学物質及び毒物・劇物の使用量削減	代替物質の調査	代替物質への切り替え検討
		達成手段	①該当物質の使用量調査 ②薬物取扱文書の策定 ③製造品のSDS最新版管理	①代替物質の調査をする ②化学薬品の表示・掲示を実施。又、取扱手順の周知 ③製造品のSDS最新版管理継続	①代替物質の切り替えﾃｽﾄ
Ⅳ. 環境に配慮した新製品開発の提案 単位：①提案数 ②受注数	実績なし 基準期間 2019.6～2020.5 (57期)	目標	高耐用の産廃削減・断熱効果による溶湯温度(ﾄﾞﾛｯﾌﾟ対策等)の提案	高耐用の産廃削減・断熱効果による溶湯温度(ﾄﾞﾛｯﾌﾟ対策等)の継続提案	高耐用の産廃削減・断熱効果による溶湯温度(ﾄﾞﾛｯﾌﾟ対策等)の継続提案
		達成手段	①市場・顧客情報の提案調査 ②提案案件受注件数	①市場・顧客情報の提案調査 ②提案案件受注件数	①市場・顧客情報の提案調査 ②提案案件受注件数
Ⅵ. 社員教育の実施	実績なし 基準期間 2019.6～2020.5 (57期)	目標	①合格者1名②1回実施/年	①合格者1名②1回実施/年	①合格者1名②1回実施/年
		達成手段	①eco検定受験 ②ｶｰﾄﾞｹﾞｰﾑ実施	①eco検定受験 ②ｶｰﾄﾞｹﾞｰﾑ実施	①eco検定受験 ②ｶｰﾄﾞｹﾞｰﾑ実施

組織図・役割・責任



3. 役　割	
代表取締役 社長	○環境経営方針の承認、見直しをする ○代表者による全体の評価並びに見直しと指示を実施する ○社員に対する教育訓練計画書の見直しを実施する
環境管理責任者	○環境経営目標・環境経営目標計画を実施し、達成状況を報告する ○環境関連法規制等取りまとめ、社員に対する教育訓練計画を確認する ○環境経営レポートを確認する
環境事務局	○各部門の環境経営目標・環境経営目標計画の実績を集計し作成する ○環境推進委員会の補佐を行い、議事録を作成する ○環境経営レポートを公開する
環境管理委員会	○環境経営目標の実施状況を評価し、協議する ○環境経営目標計画の実施状況を評価し、協議する ○社員に対する教育内容を協議する
各部門長	○自部門における環境経営目標・環境経営計画の策定・評価を実施する ○自部門の社員に対する教育・訓練を実施する ○自部門における環境経営方針、BCP、防災マニュアルの内容を周知する
全社員	○環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する ○決められたことを守り、自主性・積極的に環境活動に参加する ○BCP、防災マニュアル訓練を実施する

本年度の使用実績

58期(2020.6～2021.5)　　前年：2019.6～2020.5

エネルギー使用量

○電力量

使用量	331.167kWh
前年量	332,659kWh
削減率	0.49%

○LPG使用量

使用量	38,677
前年量	35,718
削減率	▲8.28%

○ガソリン使用量

使用量	1,979L
前年量	2,393L
削減率	17.30%

○軽油使用量

使用量	5,506L
前年量	6,809L
削減率	19.14%

○灯油使用量

使用量	1,629L
前年量	1,260L
削減率	▲29.29%

○A重油使用量

使用量	4,710L
前年量	6.840L
削減率	31.14%

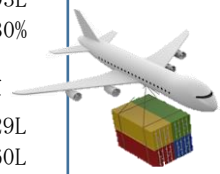
水使用量(m³)

使用量	700
前年量	662
削減率	▲5.74%

化学物質(PRTR)取扱量 6月～翌年5月末(kg)

取扱量	1725.76
前年量	1721.37
削減率	▲0.26%

※削減率の見方：削減した○○%　削減できなかった▲○○%



●電力事業社別CO_2排出係数　(2019.6～2020.5)
HTBｴﾅｼﾞｰ(株)　2019.6～2020.12　0.577kg-CO_2/kWh　(109,939.27kg-CO_2)
(株)ﾘﾐｯｸｽﾎﾟｲﾝﾄ　2020.1～2020.5　0.588kg-CO_2/kWh　(79,304.63kg-CO_2)
●電力事業者別CO_2排出係数　(2020.6～2021.5)
(株)ﾘﾐｯｸｽﾎﾟｲﾝﾄ　2020.6～2021.5
0.507kg-CO_2/kWh　(167,901.67kg-CO_2)

※今後については、(株)ﾘﾐｯｸｽﾎﾟｲﾝﾄの2019年度の調整後排出係数(0.588kg-CO_2/kWh)で固定する。

二酸化炭素(CO2)排出量 (kg-CO2)

排出量	319,547
前年量	341,187
削減率	6.34%

産業廃棄物排出量 (t)

廃棄量	333.48
前年量	399.52
削減率	16.53%

今年度の実施状況

Ⅰ．　汚泥・がれきの削減

基準年度実績	0.0519
基準年度比削減率	2%
本年度目標	0.0508

年間目標結果

▲3.3%

単位：　産廃（汚泥・がれき類）t/生産t

実施期間　2020年12月～2021年5月　（58期）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	累計
目標値	0.0438	0.0706	0.0370	0.0479	0.0773	0.0225	0.0508
実績値	0.0668	0.0426	0.0369	0.0502	0.0771	0.0385	0.0525
削減率	▲52.5%	39.7 %	0.3 %	▲4.8%	0.3 %	▲71.1%	▲3.3%
達成状況							

○本年度の達成手段

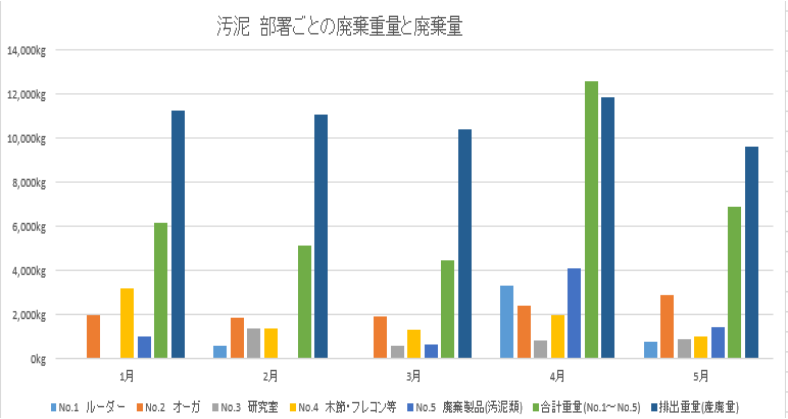
①産廃物の見える化を行う　→　達成手段！　廃棄物の推移を把握する。

廃棄物の推移集計結果

2021年1月～2021年5月

部署　(kg)	1月	2月	3月	4月	5月
No.1　ルーダー		580		3,330	760
No.2　オーガ	1,980	1,830	1,900	2,380	2,870
No.3　研究室		1,380	600	820	880
No.4　木節・フレコン等	3,160	1,365	1,320	1,980	975
No.5　産廃製品（汚泥等）	1,005		620	4,105	1,415
合計重量（No.1～No.5）	6,145	5,155	4,440	12,615	6,900
排出重量（産廃量）	11,240	11,070	10,420	11,850	9,640

各班の廃棄物重量を見える化した



②がれきのリサイクルを検討する　→　達成手段！　リサイクルできる業者を探す（1社以上）

B-net令和2年度プロジェクト会議として、がれきのリサイクルを検討している。

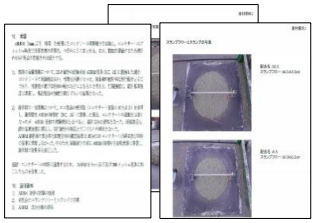
2021年1月7日（木）　参加者8名
・エコ製品（産廃活用）や付加価値、
　コンクリート製品の2次原料として活用できるか検討。

↓

2021年1月27日（水）　現地確認
・現状のサンプル品で対応可能か検討する

↓

2021年2月15日（月）　現地確認
・再度、サンプル品で対応可能か検討する



コンクリート製造業者
・がれき類の有効利用について、検討を行っている。
耐火性の長所を活かした、新しいコンクリート製品やエコ製品を生み出せるような取組みが必要。

総括	結果として未達となった。今期は廃棄物の見える化・推移の把握が主な目的なので、今期集めた数値を今後に生かす。

今年度の実施状況

Ⅱ-1.　ＬＰＧ使用量の削減

基準年度実績	255.34
基準年度比削減率	1%
本年度目標	252.79

年間目標結果

4.7%

単位：　LPG使用量kg(ローリー)/
総生産ｔ数(取鍋)

実施期間　2020年12月～2021年5月　(58期)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	累計
目標値	378.34	205.78	215.94	273.35	172.32	453.96	252.79
実績値	247.44	172.52	681.18	160.45	457.94	140.46	240.94
削減率	34.6 %	16.2 %	▲215.4%	41.3 %	▲165.7%	69.1 %	4.7 %
達成状況							

○本年度の達成手段

①取鍋全体のガス使用量の把握　→ 達成手段！　年間の取鍋施工基数とガス使用量データの収集と分析

58期　　取鍋重量別　実施状況

	1ｔ	～1.9ｔ	～3.5ｔ	～9.9ｔ	10～	その他	
6月	***	***	***	***	***	***	***
7月	***	***	***	***	***	***	***
8月	***	***	***	***	***	***	***
9月	***	***	***	***	***	***	***
10月	***	***	***	***	***	***	***
11月	***	***	***	***	***	***	***
12月	***	***	***	***	***	***	***
1月	***	***	***	***	***	***	***
2月	***	***	***	***	***	***	***
3月	***	***	***	***	***	***	***
4月	***	***	***	***	***	***	***
5月	***	***	***	***	***	***	***
合計	***	***	***	***	***	***	***

ｶﾞｽ使用量	１基当たり	生産トン数	t/量
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***
***	***	***	***

取鍋の重量別に分けて受入れ基数を分析しました。

5段階の取鍋重量で、特に1ｔ未満の取鍋が多数施工されていることがわかる。

ガス使用量と、取鍋施工する基数の量が、比例する関係にあるので、全体の使用量を把握できると考える。

②サンプルの取鍋をピックアップする　→ 達成手段！　ピックアップした取鍋の実際の乾燥時間とガスの使用量の計測

58期取鍋受け入れ実績より

1．　A社　　自動注湯鍋

2．　B社1ｔ　　自動注湯取鍋　　の2基を選定し、次期削減目標で実施する。

選定理由

年間の受入基数が安定しており、毎月1回施工を行っている2基を選定した。

また、施工する材料が、通常の物と高断熱の効果が高いモノを使用しているため比較しやすい。

総括	今期はガス使用量把握・サンプル取鍋選定が目的なので、今後データ収集・分析を行い削減方法を探る。

Ⅱ-2.　電力使用量の削減

基準年度実績	49.66
基準年度比削減率	1%
本年度目標	49.20

年間目標結果

▲0.3%

単位：　kWh/生産ｔ数

実施期間　2020年12月～2021年5月　（58期）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	累計
目標値	52.66	50.07	50.94	45.98	47.90	48.46	49.20
実績値	50.46	59.32	49.69	46.82	43.23	47.48	49.34
削減率	4.2 %	▲18.5%	2.5 %	▲1.8%	9.7 %	2.0 %	▲0.3%
達成状況							

○本年度の達成手段

①不要照明の消灯　→　達成手段！　→　休憩時間の消灯啓発

事務所　2カ所

休憩室　6カ所

研究室　1カ所

②断熱シート設置（現場休憩室）　→　達成手段！　→　②断熱シート設置（現場休憩室）

現場休憩室に断熱シートを設置しました。
冷房の温度を下げない工夫を今後も考えていきます。

総括	58期の電力使用量は前期に比べて僅かに下回ったが、生産量が8%減少したことにより、目標に到達しなかった。

Ⅱ-3.　水使用量の削減

基準年度実績	333.00
基準年度比削減率	1%
本年度目標	329.67

年間目標結果

▲19.2%

単位：　㎥

実施期間　2020年12月～2021年5月　（58期）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	累計
目標値		121.77		98.01		109.89	329.67
実績値		126.00		135.00		132.00	393.00
削減率		▲3.5%		▲37.7%		▲20.1%	▲19.2%
達成状況							

○本年度の達成手段

①節水の周知徹底・ポスター掲示　→　達成手段！　社員への節水の注意喚起

水漏れの周知徹底を行いました。
水道水を使用する箇所に、周知用のポスターを貼り、社員の意識づけを行いました。

②水漏れ点検の確認　→　達成手段！　水使用量のチェックと比較

毎月の点検チェック表を作成し、
使用量のチェックを行いました。

③器具の交換　→　達成手段！　パッキンを交換する

蛇口のパッキンを交換し、水漏れを
発生させない対策を行いました。
異常がないか目視で確認をしています。

総括	後半６か月全て前年を上回っていたため目標に達しなかった。 漏水も一つの要因と考えられる。現在は処置済。

Ⅲ.　化学物質を適正に管理する

基準年度実績	実績なし

実施期間：　2020年12月～2021年5月（58期）

本年度目標	実態調査、次年度目標の設定

管理物質として社内で製造品として使用している第１種指定化学物質及び毒物・劇物に該当する薬品類を使用量の削減の検討対象とすることを決定

①化学物質の調査	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
製造時に使用される化学薬品の入荷量調査			○			○	
達成状況							

評価基準：　月前の入荷量調査　調査率100%

毎月の入荷量を、入荷実績に基づいて把握し、

記録として残している。

②適正管理	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
化学薬品のSDSの内容調査			○			○	
達成状況							

評価基準：　薬品のSDSの最新版管理及び内容の確認

・JISZ7252「ＧＨＳに基づく化学品の分類方法」及びJISZ7253「ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法―ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）」の改正に伴い、該当製品(219件)のＳＤＳについて内容を変更し最新版の管理を実施した。

・最新版への見直しを実施（2021年5月28日完了）

③SDSの発行管理	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
SDSの内容確認及び最新版管理			○			○	
達成状況							

評価基準：　キャスタブル製品　SDS見直実施率100%

・社内共有ファイルにて、SDSの見直しを実施したことを確認した。

総括	①入荷量調査100%　②薬品SDS　100%見直し　③製品SDS見直し100% 化学薬品の管理項目について目標を達成することが出来た。

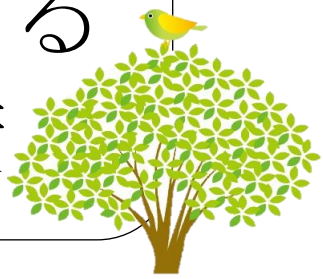
Ⅳ.　環境に配慮した新製品開発の提案

基準年度実績	実績なし

実施期間：　2020年12月～2021年5月（58期）

本年度目標	目標設定を行う

高耐用による産廃削減・断熱効果による溶湯温度ドロップ対策

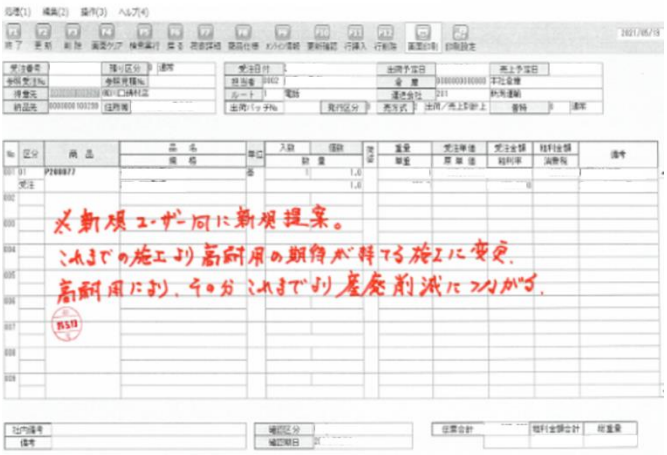


②環境に配慮した新製品開発提案	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
耐熱性重視の新製品開発にあたり、客先要望の把握と技術部との連携						○	
達成状況							

評価基準：　半期で1件以上　○　半期で0件　×

新規製品の開発提案数

提案内容



総括	初年度ということで手探りの中での実施であった。 次年度は更に具体的なアクションを実施していきたい。

V.　社員教育の実施

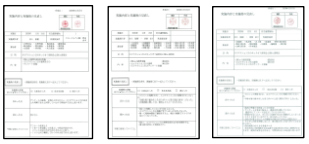
実施期間：　2020年12月～2021年5月（58期）

本年度目標	社員に持続可能な環境教育を推進し、意識の高揚と徹底を図ります。

一般的な環境に対する自覚を高める	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
エコアクション21の説明会	○		○		○	○	
達成状況							

評価基準：　社員全員に行った　○　20人未満に行った　△　行わなかった　×

説明会風景



実施後のアンケート結果

75%

エコアクション21理解度

一般的な環境に対する自覚を高める	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
カードゲームを行う		○		○			
達成状況							

評価基準：　社員全員に行った　○　20人未満に行った　△　行わなかった　×

環境経営の戦略的重要性の自覚を高める	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
エコアクション21の内容、環境経営の必要性	○	○				○	
達成状況							

評価基準：　毎年1回以上

環境教育	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年間目標結果
eco検定	○						
達成状況	合格						

評価基準：　1人受験/年

総括	エコアクション21の取組内容についての理解度は向上した。 カードゲーム、eco検定受験も計画通り実行できた。

日本キャスタブル工業新聞

号外

発行元
環境事務局
発行日 R3.4.1

未来につなぐ ＳＤＧｓ宣言

令和３年４月１日、石野社長がＳＤＧｓへの取組みを宣言しました。同時に、対外活動の多い営業部課長に代表としてＳＤＧｓバッチが授与されました。今後、環境問題に積極的に取組む企業であることを内外に宣言した。

石野社長がSDGｓへの取組みを宣言されました。

社員の意識付けが重要か

石野社長、石野専務がともに挨拶をされ、当社の環境方針を表明した。そこで、石野専務は、社員一人一人が身近なところから環境に対して意識をもってもらうことが重要で、出来る事から始めていこうと発言された。アピールに繋がると思われる。今後、環境推進委員会が中心となり、様々な観点から環境への意識を浸透させる取組みが、できるかが成功への焦点となる。思われる。未来につながるものづくりが出来る企業に成長するか今後に期待する。

当社の取組みとSDGs宣言文

SDGｓバッチが授与されました。

SDGsバッチ装着の様子

私達は、環境に配慮した取組みを行っていきます。

ＳＤＧｓ宣言

日本キャスタブル工業株式会社は、環境に配慮した取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

社会・環境・経済における向上を目指し、未来につながるSDGsをここに宣言します。

- 人が人らしく働くことができる環境づくりを目指し、地域や社会貢献に取り組みます
- 省エネルギーや環境負荷の低減に努め、エコアクション21を軸として取り組みます
- 生産性の向上やエコ環境に適した新製品開発を推進し、ものづくり企業として成長できるよう取り組みます

安全衛生・防災活動　①

安全衛生活動

○毎月1回　安全衛生委員会を開催

○毎月1回　5Sチェックを行い、
工場内の危険個所の
チェックを行っている。

○年4回　（1月・4月・7月・10月）
安全衛生週間を設けて、
安全に対する意識を高める活動を
行っている。
※　実施期間　2週間
社員全員に啓蒙バッチ等を着用して
もらう。

○社員全員に、安全手帳を配布し、
毎年1回更新を行う。

❑安全衛生委員会❑

58期　安全目標
「ルールを守って危険予知
みんなで目指すゼロ災職場」

一年間の安全目標を毎期ごとに定めて、
安全に対する取組みを行っている。

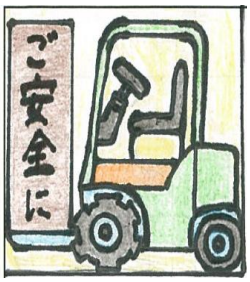
・安全保護具啓蒙ポスター
当社社員がモデルになり、
安全への意識を高める活動
を行っています。

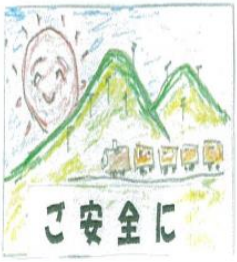
・5Sパトロール
※整理、整頓、清潔
清掃、躾

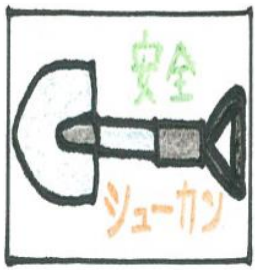
❑啓蒙バッチ等❑

社内安全週間で使用するイラストを社内公募し、社員に意識を高める活動を行っています。
・事務所社員・・・啓蒙バッチ(胸ポケットに装着)、現場社員・・・啓蒙シール(ヘルメットに貼り付け)

（デザイン一例）







❑安全手帳❑

工場内の労働災害だけではなく、
自然災害の対応も網羅した安全手帳です。
災害がいつ何時発生するかわからない昨今、
社員の命を守るために出来ることを考えて、
安全衛生委員会で作成しました。

安全衛生・防災活動　②

防災活動

○「事業継続力強化計画」の認定

・防災マニュアル
・事業継続計画(BCP)

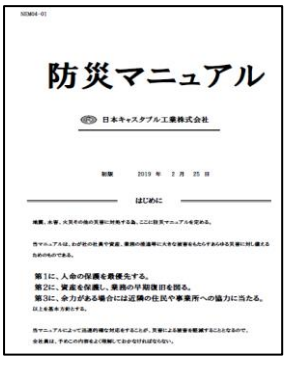
○災害時用備蓄品

○AED設置

○防災訓練

❑「事業継続力強化計画」の認定❑

事業の継続を目的とした実行性のあるBCP（事業継続計画）を策定し、社員の人命と雇用を守り、災害に負けない強い企業体質を目指しています。



令和２年度
事業継続力強化計画
認定
経済産業省

※「事業継続力強化計画」とは、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です。

❑災害時用備蓄品(3カ所)❑　年１回在庫を確認しています。

現場休憩室

事務所２階倉庫

研究室

❑ＡＥＤ設置❑

緊急事態に素早く対応できるように、ＡＥＤを設置しています。

事務所1階　受付

❑防災訓練❑

2020年12月に防災訓練を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの為、未実施。
次期年度に実施予定。

2019年　消火訓練風景

安全衛生・防災活動　③

健康促進

○「健活企業」
宣言企業

○喫煙スペース設置

○ラジオ体操

※1出展　総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
（注意）事業所数については、事業内容等不詳を除く民営事業所について集計したものである

❑「健活企業」宣言の認定❑

当社では、社員の健康づくりを積極的に促進しています。
粉塵作業職場の環境で仕事を行っているため、一人ひとりの体調管理をきめ細やかに整えることが必要となっています。
岡山県内の宣言認定事業所は「1,699社(2021.3.31現在)」で、岡山県内の総事業所は、「79,870事業所(2016年※1)」です。
県内で2%しか行っていない最先端の取組と考えています。

❑喫煙スペース設置❑

喫煙スペース

職場環境の改善の一環として、喫煙スペースを設置しました。
幅広い世代が働く職場環境では、将来に対する病気へのリスク軽減を考えて、誰もが気持ちよく働ける環境を整えています。

◎健康増進法25条
国及び地方公共団体は、望まない受動喫煙が生じないよう、受動喫煙に関する知識の普及、受動喫煙の防止に関する意識の啓発、受動喫煙の防止に必要な環境の整備その他の受動喫煙を防止するための措置を総合的かつ効果的に推進するように努めなければならない。

❑ラジオ体操❑

ラジオ体操を毎朝全社員で行い、健康の保持増進に努めています。
朝一で体操を行うことで、自己の体の調子を把握することの指針に役立てています。

環境推進委員会　①

委員会の宣言

分かりやすく、
興味を持ってもらえるような
取組み(委員会)を行うこととします。

第１回目

2021.1.29　9名出席

議題
・運営方針
・The SDGs
　アクションカードゲームX

掲示物については、
誰にでも見やすい掲示方法で
活動内容をお知らせします。
→環境推進委員会　P.22

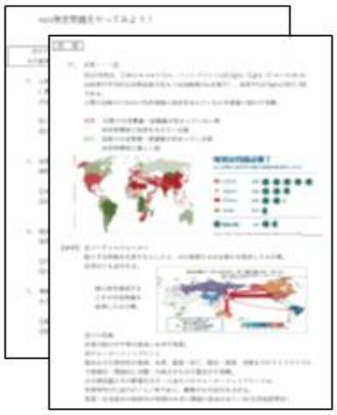
環境推進委員は、啓蒙バッチ・シールを着用しています。

第２回目

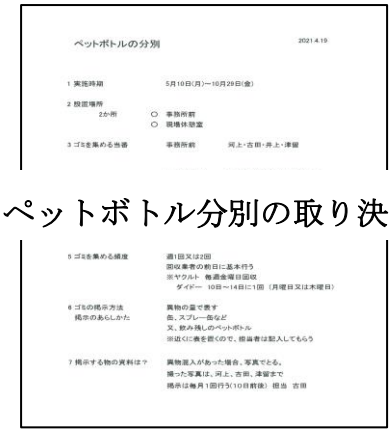
2021.2.26　10名出席

議題
・やってみよう！eco検定問題
・The SDGs
　アクションカードゲームX
　(クロス)
・ペットボトル分別について

委員でカードゲームを行い、
環境問題について意識の向上
を図った。



やってみよう！　ECO検定問題
eco検定問題を実際に解きました。



ペットボトル分別の取り決め

第３回目

2021.4.19　11名出席

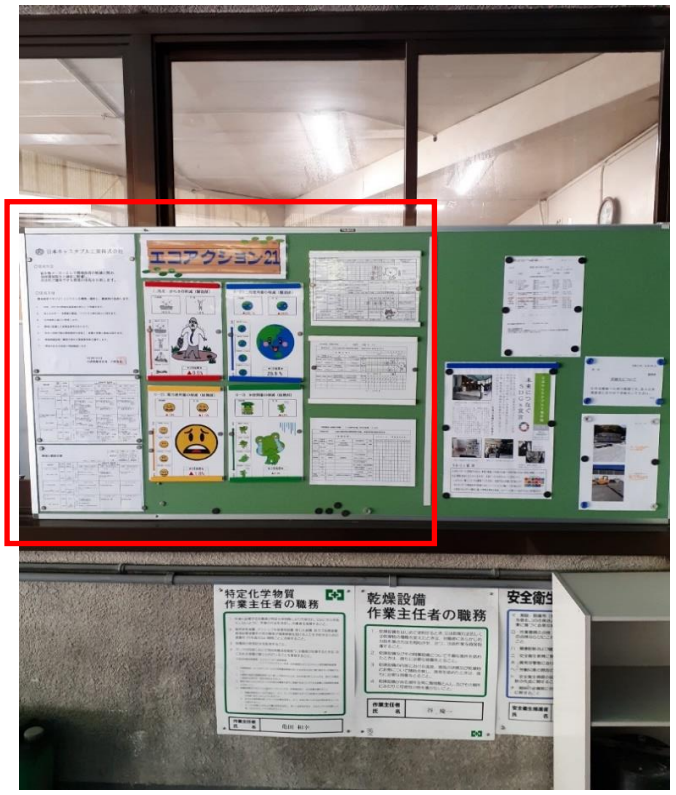
議題
・ペットボトル分別について
　→環境推進委員会 P.23

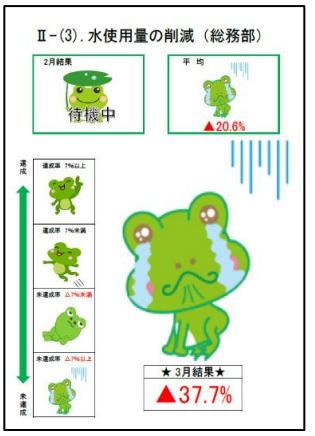
ペットボトル分別　実施期間

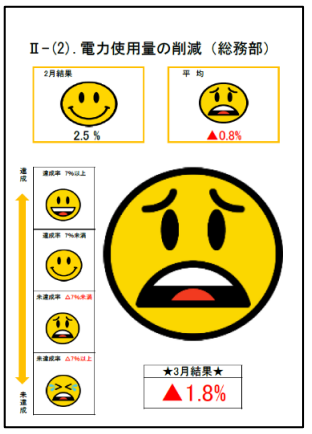
2021年5月10日(月)～2021年10月31日(日)
※分別の取組を行うことで、
　環境意識の向上を図りたい。

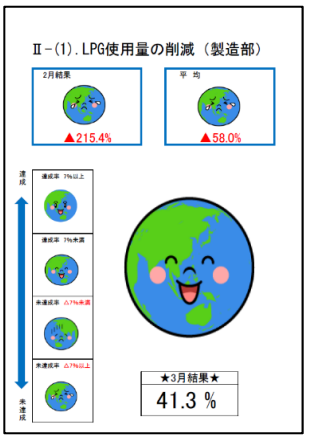
環境推進委員会　②

掲示板



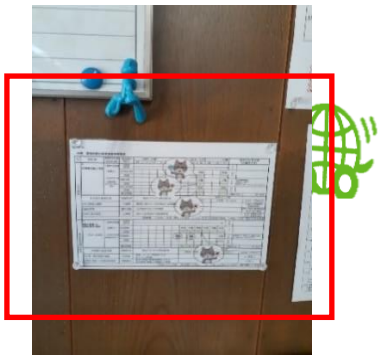






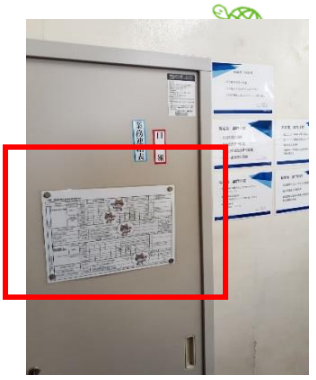
掲示板を大きくし、エコアクション21の掲示スペースを作りました。毎月の活動結果を一目見て分かるようにし、興味を持ってもらえるよう、イラストで表しました。

関係部署に掲示



研究室

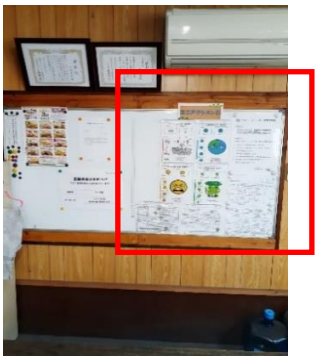
産廃置場



事務所

休憩室　炊事場

毎月の活動結果を関係部署近くに掲示することで、意識付けを行っています。



休憩室

取鍋場

環境推進委員会　③

ペットボトル分別活動

実施期間：2021年5月10日（月）～
2021年10月31日（日）

分別のみを目的に、2カ所にゴミ箱（ペットボトル専用）を設置しました。

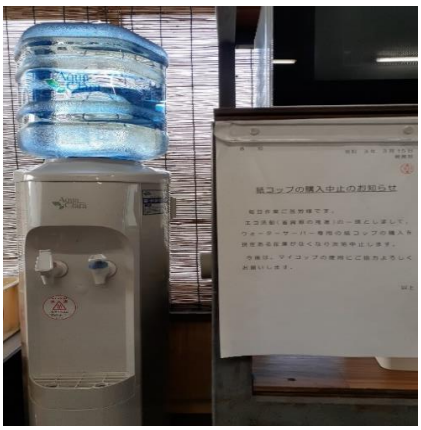
事務所前

現場休憩室

2021.5.10　AM8：00
環境推進委員長が、
全社員に向け、
活動宣言を行いました。

資源の削減

エコ活動（省資源の推進）の一貫として、紙コップを廃止しました。



事務所　炊事

休憩室　炊事

社員の福利厚生として、紙コップを支給していましたが、各自マイカップを使用して、水分補給をしてもらうことに切替えました。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・違反、訴訟等の有無

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規制等の名称	要求事項(対応すべき事項)	確認項目	評価
廃棄物処理法	マニフェスト交付	マニフェスト	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	報告書	○
	処理の状況について確認の努力義務	チェックート	○
計量法	計量器の法定定期検査	証明書	○
フロン排出抑制法	機器の使用に関する義務 (機器の点検の実施、点検等の履歴の保存、漏えい防止措置、漏えい量の報告)	点検・整備記録簿	○
浄化槽法	定期検査	検査結果	○
	帳簿の備え付け（5年間)	帳簿	○
消防法	消防訓練の実施	実施記録	× ※感染拡大予防のため未実施
	消防設備の点検	書類	○
労働安全衛生法	作業環境測定の実施	測定記録	○
	安全データーシート交付(SDS交付) ラベル表示・リスクアセスメントの実施	書類	○

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、活動期間中ありませんでした。

□外部からの環境に関する苦情等の受付結果

環境に関する外部からの苦情、要望は活動期間中ありませんでした。

□違反・訴訟等の有無

環境に関する違反、訴訟は活動期間中ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

○見直し内容と今後の対応

No.	項目	変更の必要性		指示内容
		あり	なし	
1	環境経営方針		○	現在の環境経営方針を継続していく。但し、各部の目標値に対して未達成の部分に注視していく。又、全体の目標に向かって着実に繋がる様一考し努力して欲しい。
2	環境経営目標計画		○	各部で定められた計画のもと、実施責任者は達成度をチェックし、未達成部分を一考し達成出来る様、環境管理責任者と相談し進めること。そして、目標達成に向けて環境に配慮した取組みを実行する事。
3	環境経営システムのための組織		○	教育訓練の実施に当たっては、進捗している様だが、外部講習を受講した社員が各部内において講師となって展開して欲しい。又、環境管理責任者も加わって展開する事が望ましい。環境管理責任者は各部内の実施責任者と相談して未達部分の改善にあたって欲しい。

○代表者による総括評価

環境方針で7項目を掲げています。本年度の達成状況は3項目が達成、4項目が未達成となりました。当社においても環境問題は大きな課題である事は認識しています。ムダをなくし、環境負荷の軽減に努める様、社員一同役割分担を意識して目標に向って業務を遂行していきます。そして、更なる地球に優しい環境を実現できるように一歩ずつ進めて行きます。

○編集後記

エコアクション21を始めるにあたって、堅苦しい活動ではなく、楽しんで取り組める内容を心がけていこうと決めました。

環境レポートの内容から、楽しく取り組めた活動内容が伝わればと思います。

次年度も、引き続き目標達成に向けて頑張っていこうと思います。

環境レポートをご覧頂きありがとうございます。本環境レポートで当社の取組みを少しでも知ってもらえれば幸いです。